

## 国語 第2学年 ことばを楽しもう

### 検討会の想定問答

**指摘 1：**この単元で身に付けることは何か。

**返し：**言葉遊びの音や意味のきまりを確かめ、相手の言葉を聞いて言葉を返す。速さや勝ち負けではなく、どの音を受けたかを説明する。A(1)オの学習として、言葉のつながる音に印を付けたカードと、意味を説明する絵や文。

**指摘 2：**何をもって学習できたと判断するか。

**返し：**おおむね満足できる状況は、相手の言葉を聞いて、受け取った音や意味に合う言葉を返しているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。A(1)オの姿を本時の発言と記録に照らす。

**指摘 3：**活動が楽しいだけで終わらないか。

**返し：**言葉のつながる音に印を付けたカードと、意味を説明する絵や文を残す。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、A(1)オに関わる学習の中身を確かめる。

**指摘 4：**つまり児童にはどんな支援をするか。

**返し：**言葉の意味を知らないまま音だけで答える、速い児童だけが活動する。これに対して、教科書で紹介される言葉遊びの音や言い方のきまりを、児童が手元で確かめる。本案の比較例では回文の独自例「たけやぶやけた」を仮名カードで前後から読み、同じ並びと意味を確かめる。〔知識及び技能〕(3)イとA(1)オを切り離さず扱う。

**指摘 5：**考えが違ったときはどう扱うか。

**返し：**教師の結論を選ばせず、「前から読んだ音と後ろから読んだ音は、どうなっていますか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、A(1)オに関わる根拠を話し合う。

**指摘 6：**本時の評価で態度まで決められるか。

**返し：**本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

**指摘 7：**端末がない学級でもできるか。

**返し：**言葉のつながる音に印を付けたカードと、意味を説明する絵や文は紙に記録できる。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をA(1)オの評価の代わりにしない。

**指摘 8：**時間が足りないとき、どこを残すか。

**返し：**総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。A(1)オで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

**指摘 9：**この教材で、練習と使えるようになった姿をどう分けるか。

**返し：**教科書で紹介される言葉遊びの音や言い方のきまりを、児童が手元で確かめる。本案の比較例では回文の独自例「たけやぶやけた」を仮名カードで前後から読み、同じ並びと意味を確かめる。完成品だけでなく、言葉のつながる音に印を付けたカードと、意味を説明する絵や文。を見て、確かめ方と変えた理由を判断する。

**指摘 10：**振り返りを感想だけにしないためには。

**返し：**「前から読んだ音と後ろから読んだ音は、どうなっていますか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。A(1)オに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie\_ai\_katsuyo)  
[https://www.threads.com/@mie\\_ai\\_katsuyo](https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo)

LINEオープンチャット  
みえ先生ラボ

